

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17042
課題名	非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬とマイクロサテライト不安定性との関連性の探索研究
研究期間	2017年 月 日 ～ 2021年 3月 31日
研究の対象	2010年1月1日から2021年3月31日までの間に旭川医科大学病院で非小細胞肺癌と診断された方のうち、免疫チェックポイント分子の発現検査をされた方または、免疫チェックポイント阻害剤による治療を行った方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢・性別・全身状態・喫煙指数・生存期間・治療薬・各治療における無増悪生存期間・病理結果） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：肺） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>非小細胞肺癌で免疫チェックポイント阻害薬・抗 PD-1/PD-L1 抗体の有効が確認されている中で、薬が効く患者は 10～30%と限られており、治療効果予測因子を探することは、薬が効く人を見極めるための重要な課題です。</p> <p>マイクロサテライト不安定性（MSI）とよばれる、がん組織における遺伝子変異の解析や、免疫チェックポイント分子の発現、さらに背景や予後との関連を調査することにより、免疫チェックポイント阻害薬が効くタイプかを予測する足がかりにします。</p>
研究の方法	<p>1) 患者さんの余剰検体（がん組織検体）からDNAを抽出し、MSIを測定します。</p> <p>2) 診療記録から以下の項目を得て、1) と合わせて解析を行う。</p> <p>免疫チェックポイント分子の発現、組織型・ステージ・年齢・性別・全身状態・喫煙指数・生存期間・治療薬・各治療における無増悪生存期間</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>（研究責任者）</p> <p>旭川医科大学病院呼吸器センター 講師・佐々木 高明</p> <p>住所 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1</p> <p>電話番号：0166-69-3290</p>